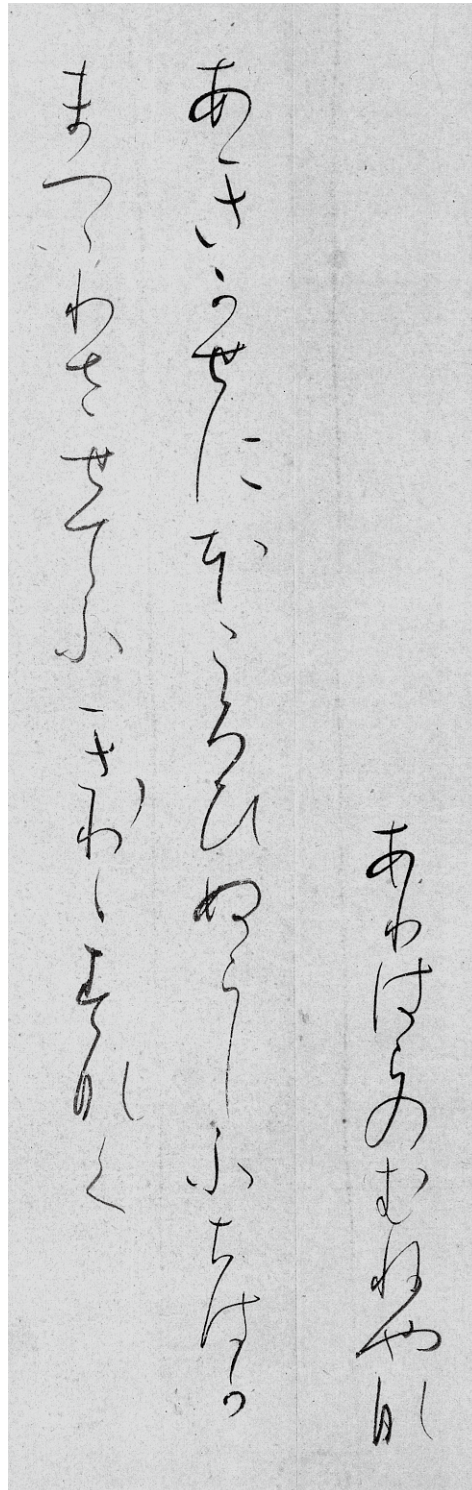


◆ 古典 ◆

芸術部 (用紙 半紙) ◆ 提出期間 10月1日～15日

半紙の中央に臨書して下さい。大きさは原帖と同寸大が望ましいですが、若干大きくなっても構いません。

伝 紀貫之筆 きのつらゆき 「高野切第三種」 こうやぎれだいさんしゆ (3)



(二玄社刊『高野切第三種』より)

【読み】

利 那
可 本
ありはらのむねやな

あきかせに ほころひぬらし ふちばか
利 春那
ま つゝりさせてふ きりぐすなく

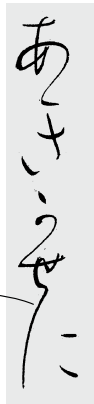
【歌意】

秋風に綻んだらしい藤袴を綴らせて
(繕わせて) とこおろぎの鳴いている。

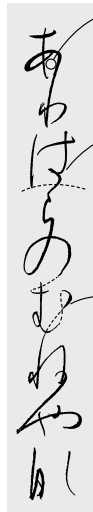
(在原棟梁『古今和歌集』一〇二〇)



広く開ける



狭い
結びを下げすぎない



気脈を切らずに



くり返し記号



線がふるえないよう伸びやかに

【学習の手引き】

「高野切第三種」は変体仮名の割合が少ないです。幾種類かの変体仮名を覚えてしまえば読むにも書くにも優しい古筆です。極端な字形の変化もないので初心者向きといえるでしょう。

練習前に肩や腕をほぐし体からリラックスさせましょう。心もほぐれると思います。